

大阪府トレセン 指導実践② 指導計画案

チャレンジ&カバー(ボールを奪うための守備の構築)

日時	2015.07.13(月)	担当コーチ	入江 寛
カテゴリー	U-13	場所	万博人工芝G

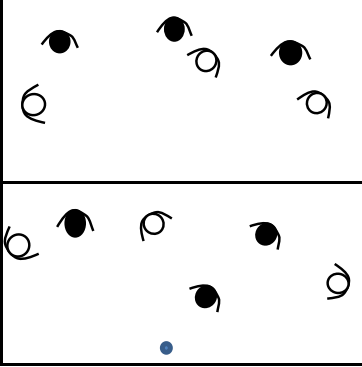
W-up

ドリブル鬼ごっこ

3 vs 3 ハンドパスラインゴール

4:1

Tr2 6 vs 6 + サーバー ラインゴール



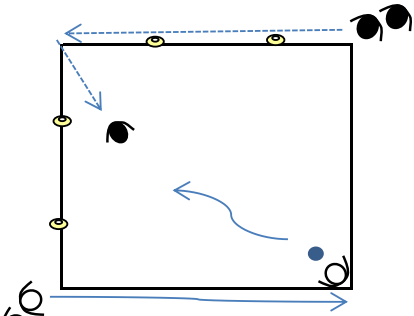
オーガナイズ
 大きさ 40×40m
 セパレート
 コーチから配球
 オフサイドあり
 サーバーへのバックパスあり

途中から、エリア間の侵入

key factor

- 1 ポジショニング(ボール状況に応じて深みを調節する)
- 2 チャレンジ&カバー(ギャップを閉める)
- 3 予測
- 4 前を向かせない守備→プレスバック
- 5 コミュニケーション

TR 1 1 vs 1 ラインゴール

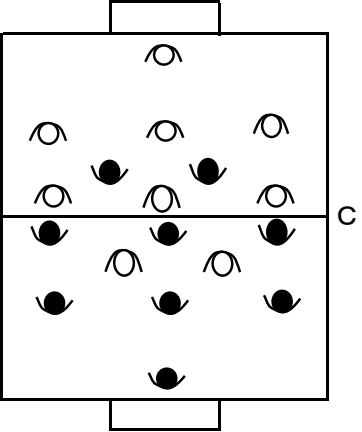


オーガナイズ
 大きさ 8×8m
 攻撃ドリブルでスタートする
 ライン突破(マーカーク間)を目指す

keyfactor

- 1 ボールを奪う
- 2 予測してアプローチ

Game 8 vs 8 + GK



オーガナイズ
 64×50m コート
 オフサイド有り

key factor

- 1 ポジショニング(ボール状況に応じて深みを調節する)
- 2 チャレンジ&カバー(ギャップを閉める)
- 3 予測
- 4 前を向かせない守備→プレスバック
- 5 GKを含むコミュニケーション
- 6 連動性(味方のアクションについていく)
- 7 攻守の切り替え

【コメント】
 ボールを奪う意識の高く持ってゲームをしてくれた。
 しかし、数的不利で、奪いにいかないで攻撃を遅らせるような場面でも、無理に奪いにいってしまうことがあったので、状況を判断してプレーできるようにする必要があると感じた。